

## 第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成22年9月29日(水) 公開授業1

児 童 1年1組(男子16名女子14名)

指導者 角掛 祐美

日 時 平成22年9月29日(水) 公開授業2

児 童 1年2組(男子17名女子13名)

指導者 吉田 佳子

ひかりサポート 佐々木 百合子

1 単元名 くらべてよもう

2 教材名 「じどう車くらべ」

副教材 「どうぐくらべ」他(自作教材)

3 単元の指導目標

[国語への関心・意欲・態度]

楽しんで読書し、事柄の違いに興味を持って、くらべようとする。

[読むこと]

説明の順序や内容を考えながら内容の大体を読むことができる。(読むこと イ)

[書くこと]

大切な事柄を落とさないで比べ表を書くことができる。(書くこと イ)

[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]

文の中における主語と述語の関係に注意して読むことができる。

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イの(カ))

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語のついで の知識・理解技能
楽しんで読書し、事柄の違いに興味を持って比べようとしている。	説明の順序を考えながら読み、違いを比べている。	事柄の違いをとらえ、比べ表を書いている。	文の中における主語と述語との関係に注意して読んでいる。

5 指導にあたって

(1) 児童について

入学以来、「うたにあわせてあいうえお」、「ともだち」などの短文や、「はなのみち」で、ひらがなや文についての学習を進めてきた。「いろいろなくちばし」では、その知的な楽しさを、クイズという形式を生かして味わった。「問いかけー答え」という文のまとまりを意識して読み、順序性にも気付いている。また文型を使ってクイズを作るという言語活動を経験することで、まとまりを考えながら正しく読む能力を育ててきた。

どの児童も学習に対する意欲は高いが、文のまとまりを考えながら正しく読むことでは個人差が大きいので、ワークシートの工夫やサポートによる声かけなどで、個に合った支援を心がけている。

## (2) 単元について

本単元で身につけさせたい力は、「事柄の順序を考えて読む力」と「内容を正しく読み取り、違いを見つけ比べる力」である。「事柄の順序を考えて読む力」については、段落を内容ごとに色分けしたり順序をあらわす言葉に着目させたりして身につけさせたい。「内容を正しく読み取り、違いを見つけ比べる力」については、比べ表を使って、読み取った内容を比較することで身につけさせたい。

本教材は、児童の身近にある自動車を題材にして、その仕事と仕事をより良くするために工夫されたつくりについて述べられた説明文である。段落構成からみると、始めの段落で質問が提示され、次の段落から三種類の自動車について「しごと」「つくり」の順序で説明が述べられている。文章表現上の順序をみると「そのために」のあとには「工夫されたつくり」が述べられている。以上の点から順序を考えながら内容を読み取るのに適した教材だと考える。また、読み取った事柄を三種類の自動車について比較したり、「しごと」「つくり」の視点から比較したりすることも容易にでき、それぞれの違いに興味を持って読み進めることができると考える。

本単元における言語活動は、自作教材を読んで比べ表にまとめ、それぞれの自慢大会をすることである。比べ表を書くために、児童は順序をとらえて正しく内容を読み取ることが必要となる。また、違いに目を向け比較することで、それぞれの自慢を見つけることができると考える。ここで使うであろう内容は、次の通りである。

文末表現の違いを捉える。・・・問いかけの文がわかる。  
形式段落を捉える。・・・文のまとまりと順序をとらえる。  
大事な言葉や文を書き抜く。・・・「ようす」や「ひみつ」を表に書く。

## (3) 指導について

二次で扱う「じどう車くらべ」は、自動車に興味を持っている多くの児童が意欲的に読み進められる教材文である。大人顔負けの知識をもつ児童にとっても、「しごと」と「つくり」の関係をすることは新しい発見となるであろう。それぞれの自動車の特徴を比べる学習を通して、まとまりを考えながら正しく読む能力を育てていきたい。説明文の読解に必要な「比較」する力をこの教材を使って育てたいと考える。三次では、自作教材を使用して、二次で学んだ「順序を考えて読む力」「内容を正しく読み取り、違いを見つけ比べる力」を伸ばしたい。三次で使用する自作教材については、次の三点を心掛け制作した。

- ① できるだけ児童の身近な物であること。
- ② 「しごと」や「やくわり」は似ているが「つくり」や「とくちょう」が違う物であること。
- ③ 自力で読み進められるように平易な文であること。

この自主教材を使い、書かれている二つの事柄についてワークシートにまとめ、さらに比べた違いを「〇〇自慢大会」で発表するという言語活動を行い、読む力をのばしていきたい。

6 指導計画（全8時間 読むこと6時間 書くこと2時間）

過程	時間	主な学習活動	具体の評価規準【B】（評価方法）
一次 2時間	1	<p><b>【学習の見通しを持つ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自慢大会をすることを知る。</li> <li>・ 教師の範読を聞く。</li> <li>・ 段落を分ける。</li> </ul>	<p><b>【関】</b>自動車の「しごと」と「つくり」の違いに興味を持ち、ほかのものも比べて自慢大会をしようという意欲・関心を持とうとしている。（観察）</p> <p><b>【読】</b>問いかげの文が分かる。（サイドライン）</p>
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ めあてを作る。</li> <li>・ どんな視点で比べるかを確かめる。</li> <li>・ 新出漢字の練習と言葉の意味を理解する。</li> <li>・ 自作教材の並行読書を始める。</li> </ul>	
次 3時間	1	<p><b>【3種類の自動車について、「しごと」と「つくり」の関係とちがいについて比べて読み、比べ表を作り、自慢大会をする】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3種類の自動車について、「しごと」と「つくり」を確かめる。</li> <li>・ 比べ表に記入する。</li> </ul>	<p><b>【読】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「しごと」について書かれているところと、「つくり」について書かれているところが分かる。（発表・サイドライン）</li> <li>・ 「しごと」と「つくり」について、表にまとめて書いている。（ワークシート）</li> </ul> <p><b>【読】</b>「しごと」と「つくり」の関係を違いを理解している。（ワークシート）</p> <p><b>【書】</b>比べ表に、自慢を書いている。（ワークシート）</p>
	1 (1組本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 比べ表を使い、3種類の自動車の「しごと」と「つくり」の関係を違いを理解する。</li> <li>・ 「しごと」の違いが「つくり」の違いにつながっていることを理解する。</li> <li>・ 「つくり」についての自慢を考える。</li> </ul>	
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車自慢大会をする。</li> </ul>	
三次 3時間	1 (2組本時)	<p><b>【〇〇比べをして、自慢大会をする】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自作教材を読み、自力読みで「しごと」と「つくり」について書かれた部分を見つけ、サイドラインを引く。</li> <li>・ 同じものを選んだグループで、サイドラインを引いたところなどについて確かめ合う。</li> <li>・ 比べ表に書き込む。</li> </ul>	<p><b>【関】</b>〇〇比べをして、自慢大会をしようという意欲をもっている。（観察）</p> <p><b>【読】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文を読んで、「しごと」と「つくり」について書かれているところが分かる。（サイドライン）</li> <li>・ 既習事項を生かして、比べ表を書いている。（ワークシート）</li> </ul>
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「しごと」と「つくり」の関係を違いを確かめながら、「つくり」についての自慢を考える。</li> <li>・ 〇〇自慢大会の練習をする。</li> </ul>	
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〇〇自慢大会を行う。</li> </ul>	
			<p><b>【読】</b>「つくり」と「しごと」の関係を理解している。（ワークシート）</p> <p><b>【書】</b>比べ表に、自慢を書いている。（ワークシート）</p> <p><b>【関】</b>友達の発表を、関心を持って聞いている。（観察）</p>

公開授業1 (1年1組)

7 本時の指導 (4/ 8)

(1) 研究とのかかわり

「しごと」と「つくり」の関係をとらえ、3種類の自動車を比べて「つくり」の自慢を見つけることで、内容を正しく読み取る力が育つと考えた。

(2) ねらい

「しごと」と「つくり」の関係をつかみ、「つくり」について自慢を書くことができる。

(3) 展開

階	学習活動	教師の支援と評価 (○主発問・支援))
つ か む 3 分	1 本時の学習の見通しを持つ。 2 本時の課題を確認する。	・三種類の自動車の「しごと」と「つくり」をまとめた表を見て前時の学習を想起し、本時の課題をつかませる。
	<b>じまんを みつけよう</b>	
ふ か め る 40 分	3 比べ表を使い、「しごと」と「つくり」の関係をつかむ。 4 比べ表を使い、3種類の自動車の「しごと」と「つくり」の違いを比べる。 5 それぞれの自動車の自慢を考える。 6 ワークシートに自慢を書く。 7 3人組で確かめ合い足りないところを補いあう。	○窓が広いとどんなことがよいのですか。 ・「しごと」に都合がよいように「つくり」が工夫されていることに気づかせる。  ○バスの荷台が広くないのはなぜでしょう。 ・「しごと」の違いが、「つくり」の違いになっていることに気づかせる。  ・自慢のポイントを全員で確かめる ・吹き出しに記入する。
	<p>具体の評価規準</p> <p>A … 「しごと」と「つくり」の関係をつかみ、自慢を書くことができる。 他の児童の自慢を確かめたり補ったりすることができる。</p> <p>B … 「しごと」と「つくり」の関係をつかみ、自慢を書くことができる。</p> <p>C への支援… 挿絵や表から、「しごと」に都合がよいように「つくり」が工夫されていることをつかませ、自慢を書けるよう支援する。</p>	
ま と め る (2 分)	6 次時の予告をする。	・自動車自慢大会をすることを知らせる。

(4) 板書計画

